

だれ  
誰もが  
暮らしやすい  
まち  
とよ  
なか  
豊中

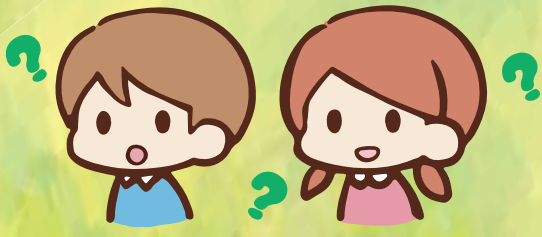


わかりやすく説明するよ。  
一緒に考えてみよう！



なんだか難しそう…  
市役所の人や大人が  
考えることなんじゃないの？

自分たちに  
できることって  
何かあるの？



# もく じ 目 次

1 <sup>く</sup>暮らしやすいまちはどうやってできているの？

2 <sup>まも</sup>守ろう！ <sup>たいせつ</sup>大切なきまり

3 <sup>つた</sup>伝えよう！ <sup>とく</sup>取り組もう！ <sup>しゅやく</sup> <sup>しみん</sup>主役は市民

4 <sup>ぶんたん</sup>分担しよう！ <sup>やくわり</sup>それぞれの役割

5 <sup>きょうりょく</sup>協力しよう！ <sup>ちから</sup>力をあわせてもっといいまち

6 <sup>とよなか</sup> <sup>し</sup>豊中市ってどんなまちをめざしているの？

7 みんなでまちをつくるために  
● <sup>しんぶん</sup>こどもワークショップ「まちについての新聞づくり」

<sup>ひょうし</sup>「表紙の『と、ともに、とよなか』の <sup>まえ</sup>前に  
<sup>す</sup>好きなことばいれてオリジナルロゴをつくろう！」



# 1 暮らしやすいまちはどうやってできているの？



暮らしやすいまちってどうやってできているの？

まちというとおお大きくて想像がつきにくいよね。  
がっこうでこま困ったことが起きたときはどうしてる？



はなあ話し合っとうすればいいかき決めてるよ。

まちでもいっしょなんだ。こま困ったことなどがおきたらはなあ話し合っとうすればいいかき決めて取り組むんだよ。



そっかー。そうすることで、まちが暮らしやすくなっていくんだね。

そうなんだ。  
たとえば、子どもの登下校の安全は、こんなふうにもまもられるんだよ。



事故や事件を防ぐためパトロールします。



交代で通学路に立って子どもたちを見守ります。



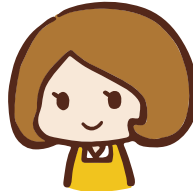
学校の授業で校区の交通安全地図を作ろう。



できるだけ一人では登下校しないようにするね。



子どもが助けを求められるよう旗を掲げます。



みんなで協力し合っとうよりよい「まち」を作ろう

# 2

## まも たい ぜつ 守ろう！大切なきまり



とよなか し 豊中市には暮らしやすいまちにするためにさまざまなことを定めた「自治基本条例」という決まりがあります。



自治ってなに？

自分たちの地域のことを、自分たちで考えて、自分たちで決め、責任をもって行うことを『自治』というんだ。



じゃあ条例って？

都道府県や市区町村ごとにつくる、そこで暮らす人々が守らなければならない決まりのことだよ。



法律と条例は何がちがうの？

	何を定めるのか	決めるところ
法律	国全体として同じ取決めしておかなければならないこと	国民の代表である国会
条例	都道府県もしくは市区町村ごとに、その地域や特色や事情に合わせて決めること	住民の代表である議会

# 3

## つた と く 伝えよう！取り組もう！ しゅ や く し み ん 主役は市民



自治基本条例には「市民主権」という言葉で、豊中のことを決めていくのは市民であると書かれています。

市民が主役となって取組みを進めていくことが大切なんだよ。



え？まちは市議会議員や市長や市役所の人たちが、作るんじゃないの？



豊中市を市民にとって暮らしやすいまちにするために、市議会ではいろいろなことを話し合い、市長や市の職員は、さまざまな仕事をしているんだ。だから主役は市民なんだよ。



# 4

ぶんたん

## 分担しよう！それぞれの役割

やくわり



『自治基本条例』には、主体的に自治に取り組むのは「市民・事業者（会社やお店）」「市議会（議員）」「行政機関（市長・市の職員）」という3つの立場の人々であると書かれています。



し 民 じ ぎやうしゃ  
市民・事業者

- 税金を納める
- 選挙で市民の代表者（議員）や市長を選ぶ
- 地域の活動に参加する



し ぎ かい  
市議会

- 市の予算を決める
- 市の条例を定める



ぎやうせい き かん  
行政機関

- 事業の計画を立てる
- 予算の案を作成する
- 法令に基づき事務を執行する



それぞれに大切な役割があるんだね。

# 5 <sup>きょうりょく</sup>協力しよう！ <sup>ちから</sup>力をあわせてもっといいまち



『<sup>じちきほんじょうれい</sup>自治基本条例』には、<sup>じちすす</sup>自治を進めるためには「<sup>じょうほうきょうゆう</sup>情報共有」  
「<sup>さんかく</sup>参画」「<sup>きょうどう</sup>協働」が必要であると書かれています。

これらの3つを<sup>じちきほんげんそく</sup>自治の基本原則といいます。

これら3つの<sup>きほんげんそく</sup>基本原則は<sup>しみんおも</sup>市民の思いや考えを  
<sup>たいせつ</sup>大切に<sup>か</sup>するためには<sup>か</sup>欠かせないことなんだ。



## <sup>じょうほうきょうゆう</sup>情報共有 とは

<sup>しみん</sup>市民・<sup>じぎょうしゃ</sup>事業者と<sup>しぎかい</sup>市議会、<sup>ぎょうせい</sup>行政機関が<sup>ま</sup>まちの<sup>じょうほう</sup>情報を<sup>せっきよくてき</sup>積極的に<sup>つた</sup>伝えあうこと



<sup>しぎかい</sup>市議会で<sup>ひら</sup>開かれている<sup>しゃしん</sup>写真や、<sup>はな</sup>話し合われた<sup>ないよう</sup>内容についての  
<sup>きじ</sup>記事を<sup>こうほうし</sup>広報誌でみたことがあるよ。



ぼくは、<sup>し</sup>市の<sup>しやくいん</sup>職員が、<sup>し</sup>市で<sup>いま</sup>今どんな<sup>とりく</sup>取り組みをしているのか  
<sup>こうほうし</sup>広報誌や<sup>し</sup>市のホームページでみたことがあるよ。

<sup>しぎかい</sup>市議会議員も<sup>しちやう</sup>市長も<sup>し</sup>市の<sup>しやくいん</sup>職員も、<sup>しみん</sup>市民が<sup>し</sup>知りたいことを<sup>し</sup>知りたい時に  
<sup>しら</sup>調べられるように、<sup>とき</sup>聞きたい時に<sup>き</sup>聞けるように<sup>こうほうし</sup>広報誌や  
<sup>し</sup>市のホームページなどで<sup>じょうほう</sup>情報を<sup>ていきやう</sup>提供しているんだ。



# さん かん 参 画

とは

まちに関して何をどうするか決める場などに、  
責任のある役割をもって参加すること



「責任のある役割をもって参加する」ってどういうこと？

例えば、児童会で何か計画をたてるときに、委員として会議に参加して、  
自分から進んで意見を言うようなことをいうんだよ。



確かに、児童会の委員会に参加している時は、  
友達としゃべっている時と気持ちがちがうよ。

豊中市のことを決めていくには、市民の思いや考えが一番だから、  
市は大事なことを考える時には、市民に参加を呼びかけるんだ。



自治基本条例をつくる時も、市民が話し合いに参加していたの？

そうだよ。市民と市の職員と専門家とでいろいろな意見を出し合って考えた内容が、  
市議会で認められて、条例とすることが決まったんだ。



# きょう どう 協 働

とは

市民・事業者と市議会と行政機関が、それぞれの役割をもちつつ、  
同じ目的のために力を合わせて取り組むこと



私たち市民は何をすればいいのかな？



いろいろな立場の人たちといっぱい話し合ったらいいんじゃない？

そうだよ。話し合っ、それぞれが何をするか  
役割を決めて取り組む必要があるよね。



でも市議会議員や市長、市の職員のほうがまちをよくするためには  
どうしたらいいかよく知っているよね？私たちはどんな役割をすればいいの？

市民は自分たちが住む地域のことについて、一番詳しいはずだよ。  
それぞれが自分の立場や得意なことを生かして力を合わせて取り組んでいくんだよ。



# 6 とよなか し 豊中市ってどんなまちを めざしているの？



まちのために、みんなで協力することが必要なのはわかったよ。  
でも、豊中市はどんなまちをめざしているのかな？

豊中市のめざしているまちの将来像は

「みらい創造都市とよなか～明日がもっと楽しみなまち～」なんだ。  
これは豊中市の総合計画でしめしているとおりに、さまざまな人たちが  
お互いに認め合い「明日がもっと楽しみ」と思えるまちにしていきたい  
という思いが詰まっているんだよ。



みんなが「明日がもっと楽しみ」と思えれば良いよね。  
ところで総合計画ってなーに？なんだか難しそうなお名前だけど…。

総合計画は、「豊中市のめざすすがた」と「そのための市役所の仕事」が  
書かれたものだよ。市民はもちろん地域の団体など色々な人の意見がもとに  
なって、つくられているんだよ。



そっかー。じゃあ豊中市は、そんなまちにするための仕事をしているんだね。

そうだよ。そして市役所だけじゃなくて、市民や地域の団体など、  
みんなで協力しながら「まち」を作っていくことが大切なんだよ。



みんなの思いがまちをつくります





あしたの「明日がもっと楽しみなまち」をつくるために豊中市はこんな仕事をしています。  
 (第4次豊中市総合計画のうち前期基本計画)

① 子ども・若者が夢や希望をもてるまちづくり

例えば...



▲こども食堂



▲親子遊び

② 安全に安心して暮らせるまちづくり

例えば...



▲市立豊中病院



▲救急隊訓練

③ 活力ある快適なまちづくり

例えば...



▲環境学習



▲自転車通行空間

④ いきいきと心豊かに暮らせるまちづくり

例えば...



とよなか おきなわおとぶたい  
▲豊中まつり：沖縄音舞台



げんき かいご よぼううんどうきょうしつ  
▲元気に介護予防運動教室

⑤ 施策推進に向けた取り組み

例えば...



こうほう  
▲広報とよなか



ゆめききん  
▲とよなか夢基金

リーディングプロジェクト  
～南部地域から“みらい”を～



なんぶ ちいき くらしたい おとず ひと ふ  
▲南部地域に暮らしたい、訪れたいという人を増やします。

# 7 みんなでまちをつくるために

## こどもワークショップ まちについての新聞づくり

豊中市のことをもっと知ってもらい、  
みんなでまちづくりができるようにするため、  
みんなで「まちについての新聞づくり」をしたよ。

地域の活動に参加して  
みんなと仲良くしたいと思った。



みんなで協力して  
まちづくりをすることが  
大切だということが分かった。



意外に自分でもできることってあるんだね。

そうだね。住んでいる地域によっていろいろな活動をしている人たちがいるよ。  
できることから参加していくことが、豊中市をもっと良くしていく第一歩だね。



ぼくの地域では清掃活動をしている人たちがいるけれど、  
それもまちづくりの一つなんだね。こんど参加してみようかな。

かんが  
考えてみよう

まちをもっと良くするためにどんなことができるかな？ どんなことをしてみたいかな？

大人も、子どもも、知恵を出し合って一緒に  
協力しながら、まちをつくっていくことが大切だね。



エスディジーズ

# SDGsってなーに？

豊中市だけでなく世界のすべての人にとってより良い世界をつくるため、世界の国々の政府が話し合い、すべての人や地球にとって大切な17の目標を決めたものです。

難しそうに感じますが、みなさんの暮らしの中でできることもたくさんあります。

エスディジーズ  
SDGsの  
ロゴマークだよ



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



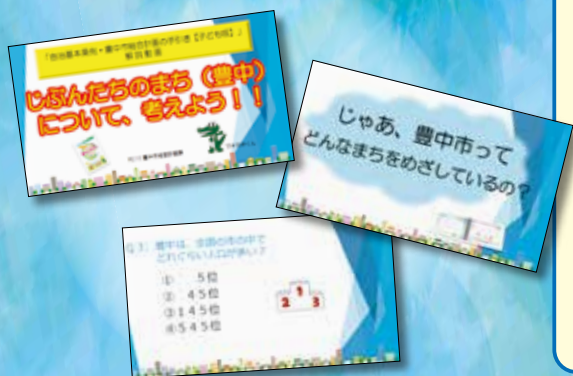
豊中市はSDGs未来都市です。

詳しくは



40万人の  
とよなか  
未来バトン  
SDGs to 2030

一緒にじっくり話し合い、持てる力を出し合って、だれもが暮らしやすい豊中市をつくりましょう。



この冊子の内容を  
動画で解説しているよ。



<https://youtu.be/X4IHL34FVRE>



誰もが暮らしやすいまち豊中

自治基本条例・豊中市総合計画の手引き【子ども版】

令和3年(2021年)5月発行

<編集・発行> 豊中市 都市経営部 経営計画課  
〒561-8501

大阪府豊中市中桜塚3-1-1

TEL : 06-6858-2773

E-mail : keiei@city.toyonaka.osaka.jp

豊中市ホームページ

